

永井隆記念館整備事業及び周辺整備について

1. 永井隆記念館整備の経過

- 昭和43年7月 明治100年を記念し、永井隆顕彰碑の要望
昭和45年10月 永井隆記念館竣工 長崎市の記念館と姉妹館となる（10月20日）
平成元年8月 回廊を撤去し顕彰室、図書室拡張他改修
平成16年11月 合併により雲南市「三刀屋町永井隆記念館」に改称
平成20年5月 博士生誕100周年事業で「如己堂（複製）」建築、前庭整備
平成25年1月 周辺整備事業

2. 施設の現状等

三刀屋町永井隆記念館は三刀屋町三刀屋の国道54号沿いに立地し、敷地面積2,078㎡、建築面積340㎡の建物です。記念館としての展示機能に併せ、図書室としての機能も備え、昭和45年の建設以来47年が経過し、老朽化が進んだ施設となっています。

平成28年2月には、地元地域自主組織等で組織された永井隆記念館整備促進委員会より「現地での建て替えが適当」との意見をまとめた「永井隆記念館建設についての要望書」が市長に提出されました。こうしたこと等をふまえ、平成28年9月現地にて建て替えを決定しました。

3. 建設に伴う基本理念

永井隆博士は、長崎の原爆で大けがを負いながらも自己の生命を顧みず「如己愛人」「平和を」の精神に徹し、原子病と闘いながら最後まで医師としての使命に生きました。新たに建設する記念館はその博士の功績と人間性を伝えることで平和を希求する豊かな人材育成につなげていく、博士の偉大な業績を顕彰する施設として以下の基本理念を掲げます。

- ①永井隆博士を顕彰し、その崇高な精神を次世代へ引き継いでいきます。
- ②子どもたちをはじめ、多くの市民が永井隆博士についての知識や情報を身に付け、平和の学びを深めていく環境づくりに努めます。
- ③地域振興や観光振興へ貢献し、交流人口の拡大を目指します。

4. 施設・設備等の基本方針

永井博士の人生、功績、思想等、多面的にその人物像を伝えるとともに、「平和を」「如己愛人」の精神を感じ、自ら学ぶことができるような施設を目指します。又、「永井隆生い立ちの家」や「旧飯石小学校」との連携についても検討します。

- ①永井隆博士に関する展示の充実
- ②平和教育の推進拠点
- ③図書室機能の充実
- ④経済性・効率性に配慮した整備・運営
- ⑤災害に強い施設の整備

5. 建設決定からこれまでの経緯について

- 平成28年9月 現地にての建て替え決定
平成29年1月 永井隆記念館整備促進委員会との協議
平成29年3月 永井隆記念館整備基本構想策定
平成29年6月 6日 第1回雲南市三刀屋町永井隆記念館整備に関する委員会開催

平成29年7月10日	第2回雲南市三刀屋町永井隆記念館整備に関する委員会開催
平成29年9月	雲南市永井隆記念館整備基本計画策定
平成29年11月16日	永井隆記念館設計業者プレゼンテーション・ヒアリング審査
平成29年11月22日	永井隆記念館設計業者選定委員会
平成29年11月30日	永井隆記念館設計業者審査結果発表
平成30年1月18日	第3回雲南市三刀屋町永井隆記念館整備に関する委員会開催
平成30年3月	雲南市永井隆記念館建設基本設計業務完了
平成30年7月	雲南市永井隆記念館建設実施設計業務開始

6. 事業費について

平成31年度

永井隆記念館建設費	254,500千円
展示制作・備品購入	52,000千円
外構植栽・工事監理費等	37,780千円

計 344,280千円 (現在の概算事業費)

7. 今後の予定

平成30年度

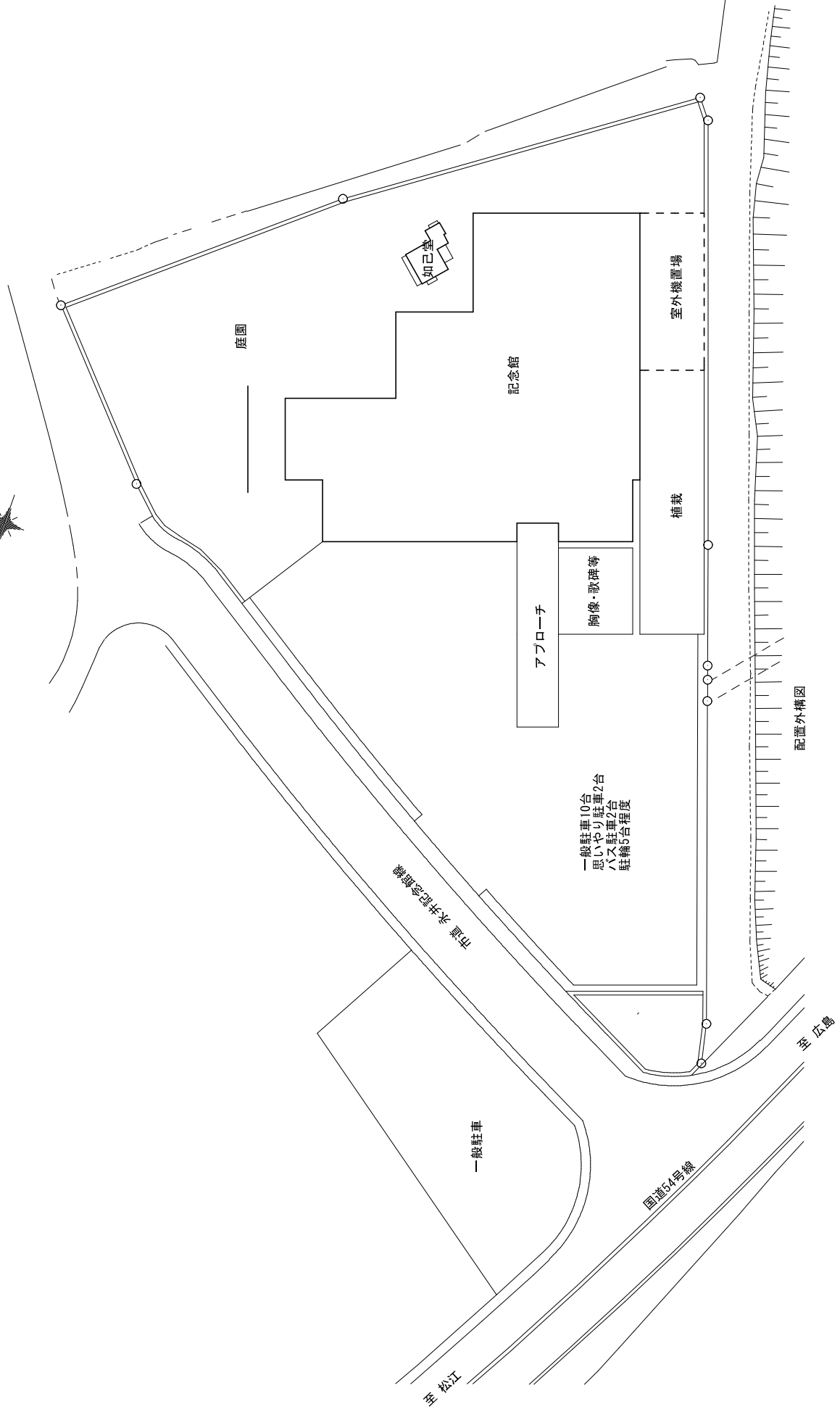
平成31年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実施設計																								
旧三刀屋公民館・永井隆記念館取壊し																								
敷地造成工事																								
市道改良工事																								
建築工事																								

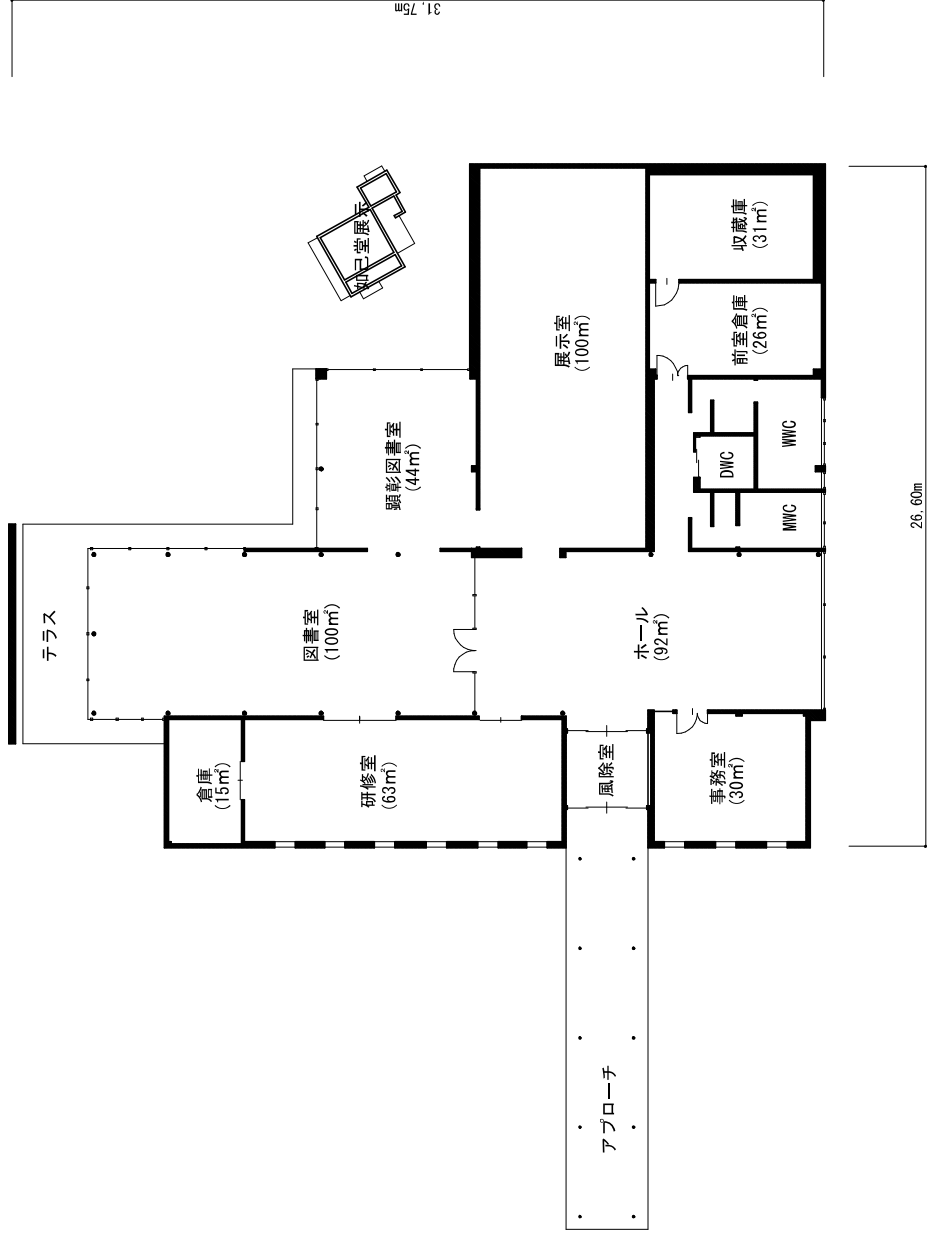
オープン予定：平成32年4月末（予定）

8. 雲南市永井隆記念館基本設計の考えについての説明

※別紙及び映像



雲南市永井隆記念館建設基本設計書



平面図

